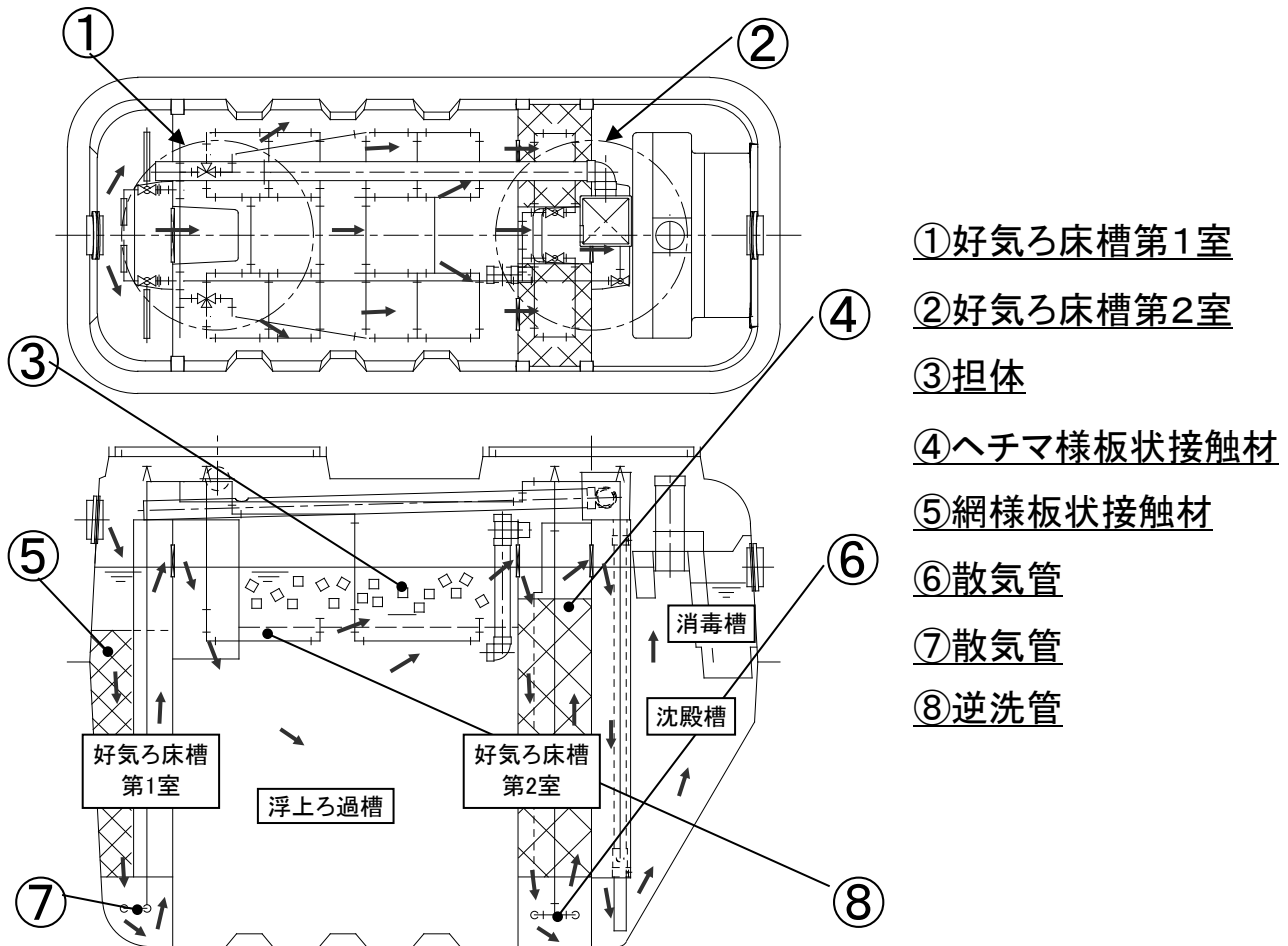
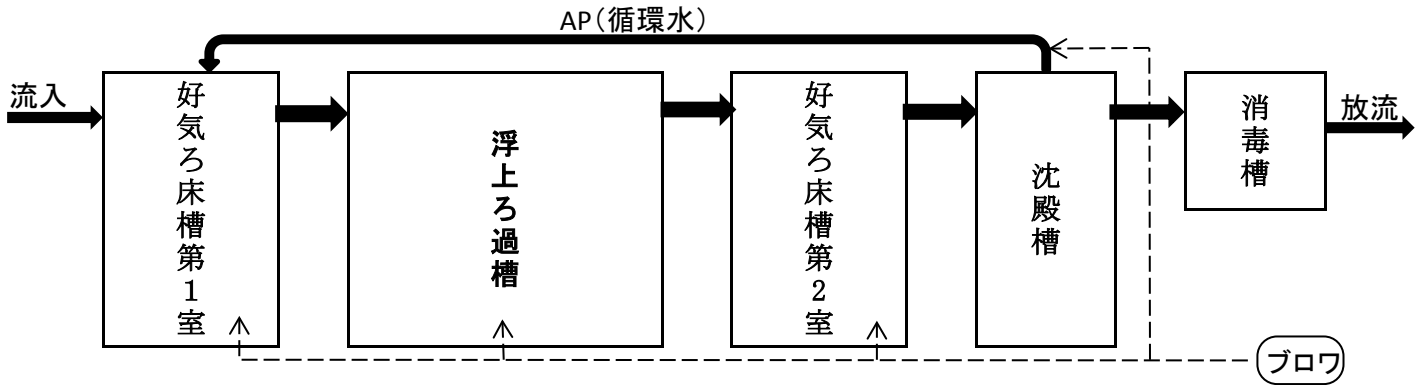


CXW アムズ(株) OEM: なし 共同開発: なし 処理方式: 前ばっ気型浮上ろ過好気ろ床方式 5・7・10人槽	BOD除去型		全浄協登録値			
			BOD	SS	T-N	
			20mg/L以下	—	—	
			性能評定または性能評価値			
			BOD	SS	T-N	
		20mg/L以下	15mg/L以下	—		



		有効容量 (m ³)		
		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	好気ろ床槽 第1室	0.216	0.295	0.474
	浮上ろ過槽	1.011	1.412	2.024
	好気ろ床槽 第2室	0.219	0.298	0.425
	沈殿槽	0.324	0.469	0.710
	消毒槽		0.022	
合計		1.792	2.496	3.655

循環装置	循環装置 エアリフトポンプ バルブ開度(%)	散気バルブ (%)	逆洗バルブ
有	30	100	全閉

人槽	ブロウ風量 (ℓ/分)	逆洗風量 (ℓ/分)	エアリフト用 (ℓ/分)	逆洗時間 (分)	逆洗時刻	逆洗回数 (回)	逆洗周期
5	60	?	?	?	? ?	?	?
7	80	?	?				
10	120	?	?				

[人槽に対する循環水量の設定範囲]

人槽		5	7	10	
循環装置	エアリフトポンプ	移送水量(ℓ/分)	2.1	2.9	4.2

・循環移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量) (2)実使用人員、(3)人槽 の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

特 徴

好気ろ床槽 第1室には網様板状接触材が充填されており、全面ばっ気により常時攪拌混合され、夾雑物が破碎されるとともに、接触材表面の好気性微生物によってBOD除去が進行する。槽内水は下向きに流れる。
 第2室にはヘチマ様板状接触材が充填されており、全面ばっ気により常時攪拌混合され、接触材表面の好気性微生物によってBOD除去が進行する。槽内水は下向きに流れ槽中央部のエアリフトポンプ(揚水管)を介して沈殿槽に移送される。

浮上ろ過槽 槽内には骨格様円筒状担体が充填されており、沈降性の高い固形物は槽底部に沈降し、貯留される。担体は水面にあり、これによってSSが捕捉される。移流口は水面に3ヶ所あり担体流出防止板が設置されている。

沈殿槽 3面ホッパー構造であり、槽内水が上向きに流れる過程で固液分離が行われる。沈殿した汚泥は槽内に設置された循環用エアリフトポンプにより、好気ろ床槽第1室へ常時移送される。

作 業 時 の ポ イ ン ト

保守点検

- ①好気ろ床槽第1室のばっ気状況、接触材内および底部の固形物の蓄積状況を確認してください。接触材の逆洗は、散気バルブを片方ずつ全開・全閉することにより実施してください。
- ②浮上ろ過槽の逆洗を行ってください。また流出部に設けてある担体流出防止網に異物が付着している場合はブラシ等で洗浄してください。
- ③浮上ろ過槽の堆積汚泥が5・7人槽:880mm、10人槽:1,080mmに達している場合は、清掃時期と判断してください。
- ④循環水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。
- ⑤揚水管は、沈殿槽への揚水の状況を確認し、配管の洗浄を行ってください。

清掃

- ①好気ろ床槽第1室、浮上ろ過槽は、全量引き抜いてください。
- ②先に浮上ろ過槽の逆洗を実施してから清掃してください。